令和５年１月３０日　大東市開催
第３回　史跡飯盛城跡
保存活用計画策定員会　資料２

第2回　史跡飯盛城跡保存活用計画策定委員会　主な意見

日時：令和 4 年 10 月 24 日（月）13 時～14 時 30 分　場所：四條畷市役所 東別館 201 会議室

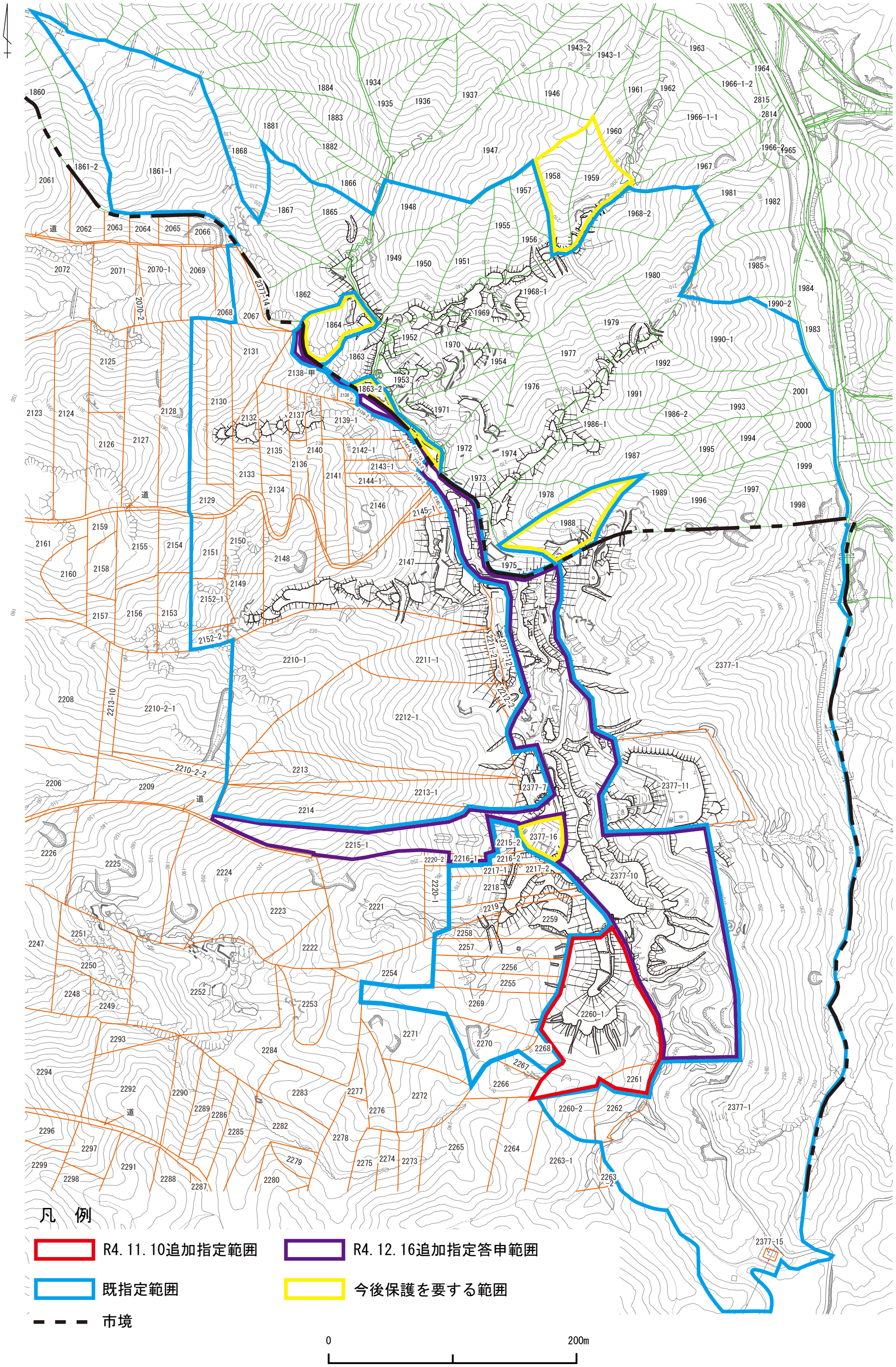
ID	項　目	修正前頁	意　　見
□保存活用計画全体に関わるご意見			
1	UD デザイン		色彩が区別しにくい方に今の段階から配慮した方がよいと思います。史跡指定地は赤色など決まっている色は変えずにお願いします。
□保存活用計画（第1章：保存活用計画策定の経緯と目的）に関するご意見			
2	策定沿革	P1	P1 一番下の段落で、最初の文と2つ目の文で「遺構の損傷」という言葉が被っているので、文章を整理してください。「また」という言葉も続いています。あと、P1 の2段落目一番下の「永禄 12 年頃」に西暦表示がいると思います。
3	出来事表	P3-4	P3 の出来事の表について、全部に「調査関係」などついているのが煩雑で分かりにくいです。見やすくなるように整理した方がよいと思います。
4	出来事表	P3-4	P3 の表で、四條畷学園で 10 年ぐらい関西城郭サミットをしていますが、大東市・四條畷市も関わっていたと思います。例えば「研究関係」などで入れてはどうでしょうか。
5	計画対象図	P6-8	P6 表の一番下にある「中垣内越道」が、P7 図 2 もしくは P8 図 3 の図上に表現されていません。
6	用語説明	P8	（城郭用語の説明について）P8 あたりで早めに説明しておいた方がよいと思います。
□保存活用計画（第2章：史跡飯盛城跡を取り巻く環境）に関するご意見			
7	市の概況	P19	P19 の最初の行で、「四條畷市・大東市」と書かれていますが、今まで「大東市・四條畷市」になっているので、あわせた方がよいと思います。また、「東北部」と書かれていますが、一般的には「北東部」だと思います。
8	地形地質	P20	地形・地質について、飯盛城との関連性がよく分かりません。もう少し地形的特色や工学的データがあるといいと思います。NHK や清滝の道路を整備する時の何か具体的なデータがあれば、史跡の管理にも活かせると思います。ここに入れるかは別として、具体の数値が載っているとよいと思います。
9	地形地質	P21	P21 の地質分類図に、白色でもよいので史跡指定地の位置を明示してください。
10	動物昆虫	P24	P24 の動物と昆虫について、公的資料では『大阪府野生生物目録（2000 年発刊）』に北河内地域についての記載があります。北河内地域でどういう種が見られるかのリストが載っており、一帯として捉えることができると思います。 現在四條畷市で森林調査を実施しており、哺乳類データをとっているところです。未公開データですが活用していただいてもよいです。 （オオムラサキ、アサギマダラといった）人気の高い蝶がみられるということは計画に記載してもよいかと思います。
11	植生	P24	P24 の植生区分図で、広い範囲で示されていますが、史跡指定地が小さくなっているので、図として大きく示してください。

ID	項　目	修正前頁	意　　見
12	歴史概要	P25-32	大東市・四條畷市で合わせるという説明でしたが、原始・古代は難しいと思います。何市の何遺跡とすると複雑で分かりにくいと思います。 大東市・四條畷市は近代以降の線引きなので、歴史的環境はまとめていいと思います。大東市と四條畷市の歴史をまとめるのは難しいと思いますが、工夫していただきたいと思います。
13	歴史概要	P25-32	近世・近代はおろそかにせず、旧石器時代～近代まで均等なページ配分にしてもいいと思います。原始・古代のところは長い文ですが、飯盛城に関するところと比べるとボリュームの違いが気になります。
14	歴史概要	P25-32	紙面が余裕があれば、河内湾・河内湖についての最新の情報を入れるといいと思います。
15	歴史概要	P25-32	四條畷市の西部地域の江戸時代は、旗本三好家が2千石ぐらいで、飯盛城跡の三好家とは敵対しているが、旗本三好家の中で最大手級なので、その陣屋については書いておいた方がいいと思います。
16	交通	P35	P35 の交通で、大東市立野外活動センターだけ現地までの徒歩時間が書かれていないので、書いた方がよいと思います。
17	産業	P36	P36 の産業について、両市の一次産業、二次産業、三次産業の人口はどのぐらいでしょうか。林業をしている人がどのぐらいいるか知りたいです。
18	指定等文化財	P38-39	P38-39 の大東市の指定・登録文化財の表で、「飯盛千句」と「三好長慶書状」が載っていません。飯盛城に直結する文化財なので記載をお願いします。
19	埋文分布図	P41	P41 の埋蔵文化財の分布図で、分布図に番号が入ると思います。埋蔵文化財はかなり数があると思いますが、分布図と遺跡名の表が半ページでおさまるのでしょうか。
20	災害履歴	P44	P44 の災害履歴もこれから調べて、表として作成できるということでしょうか。
□保存活用計画（第3章：史跡指定飯盛城跡の概要）に関するご意見			
21	読み仮名	P47	飯盛城跡の読み方が「じょうし」か「じょうあと」かよく尋ねられますが、ルビを振ってもいいでしょうか。 実際の指定告示の文に「じょうあと」と書いていましたか。便宜上ここで書くのはいいと思いますが、指定告示に書いていないなら分かるようにした方がよいです。
22	指定説明	P47-49	P47 の「第2節（2）指定説明文」について、月刊文化財から引用したということだが、文章に誤字脱字があります。もう1度確認した方がよいです。
23	文献調査	P56	P56 の文献調査で、イエズス会に関する文献について、こういう図があるなど紹介した方がよいと思います。本質的価値にも関わってくるかと思います。
□関連事業に関するご意見			
24	WS 結果周知		ワークショップの結果も周知して、まちづくりのツールにするといいと思います。

ID	項　目	修正前頁	意　　見
25	WS 計画反映		保存活用計画にワークショップで実施したことと発表内容を入れていいと思う。何らかの形で文字として残していただいて、我々も参考にしたいと思います。
26	説明会		権利関係者にしっかり説明いただいて、将来的には史跡指定を考える場にもしてほしいです。公有化は難しいかもしれませんが、史跡指定に同意していただける場にもしてほしいです。
□その他ご意見			
27			修正したところは赤字か何かで示して、次回の最初に直したところを簡単に説明するとよいと思います。

令和５年１月３０日　大東市開催
第３回　史跡飯盛城跡
保存活用計画策定員会　資料３

史跡の対象地域を示す図面（全域）



令和５年１月３０日　大東市開催
第３回　史跡飯盛城跡
保存活用計画策定員会　資料４

関連事業について
飯盛城跡を未来に活かすかたちを考えるワークショップ開催状況

（１）周知方法
1. 広報誌
【四條畷市】11 月号広報誌　11 月 15 日発行【大東市】12 月号広報誌　12 月 1 日発行
2. 各市 HP

（２）募集人数：20 人（市内在住、在勤、在学の方 14 人、庁内関係部局６人）
応募多数の場合、令和５年 1 月 10 日に抽選。

（３）応募期間：令和４年 11 月 15 日（火）～令和５年１月９日（月・祝）

（４）申込方法：①往復はがき（１通につき１人）【１月９日必着】
②申し込みフォーム（１通につき１人）【１月９日締め切り】

（５）応募結果：７人（四條畷市在住２人、大東市在住４人、大東市在勤１人）

（６）各回内容
第１回：【講座学習】飯盛城跡の基礎知識と四條畷市立歴史民俗資料館の展示学習
令和５年 1 月 29 日（日）10 時～12 時
（会場）四條畷市立歴史民俗資料館　集合・解散

第２回：【現地学習】飯盛城跡の縄張りの見方と飯盛山の自然環境の学習、
大東市立歴史民俗資料館の展示学習
（講師）大阪府立環境農林水産総合研究所　土井裕介氏（植生、昆虫、地質）
令和５年２月５日（日）９時～16 時
（会場）JR 四条畷駅⇒飯盛城跡⇒野崎城跡⇒大東市立歴史民俗資料館

第３回：【事例学習】国史跡烏帽子形城跡（河内長野市）
（講師）河内長野市教育委員会生涯学習部文化財保護課　太田宏明氏
令和５年２月 12 日（日）13 時～15 時
（会場）国史跡烏帽子形城跡　集合・解散

第４回：【グループワーク・発表】「私たちが考える飯盛城跡の活用・整備のかたち」
グループ別の討議と発表
令和５年３月 12 日（日）13 時～16 時
（会場）四條畷市立歴史民俗資料館　集合・解散

史跡飯盛城跡石垣の土砂流出について

(1)経　緯

令和4年 11 月 19 日(土)午前 11 時頃に大東市職員がⅢ郭曲輪 15 の西側斜面に構築されてる石垣6・7(図1)で石垣構築法面より土砂が流出していることを確認。11 月 21 日(月)に改めて現地確認を行った。

現状を確認したところ、根石付近に位置する腐敗した切株樹根付近の斜面をイノシシが掘り起こしたことにより、切株が保持していた土砂が流出したと判断される。

(2)土砂流出状況(写真1～4)

石垣石材の崩落は認められない。段築状石垣の犬走部分がイノシシにより掘り起こされている(写真4)ほか、1段目隅角部が流出した土砂で埋まっている(写真6)。

(3)保存上受ける影響

根石付近の土砂が流出しており石垣が崩壊する危険性が高くなっている。当該石垣は飯盛城に伴う石垣で史跡の本質的価値を構成する重要な遺構であるため、遺構保護の応急措置として切株を除去し土嚢を積み上げて石垣面を押える措置をとる。切株の除去方法については、伐根ではなく、伐採とする。

(4)応急保護措置

1. 切株伐採状況(写真7・8)

2. 石垣面応急保護措置施工予定図(図2)

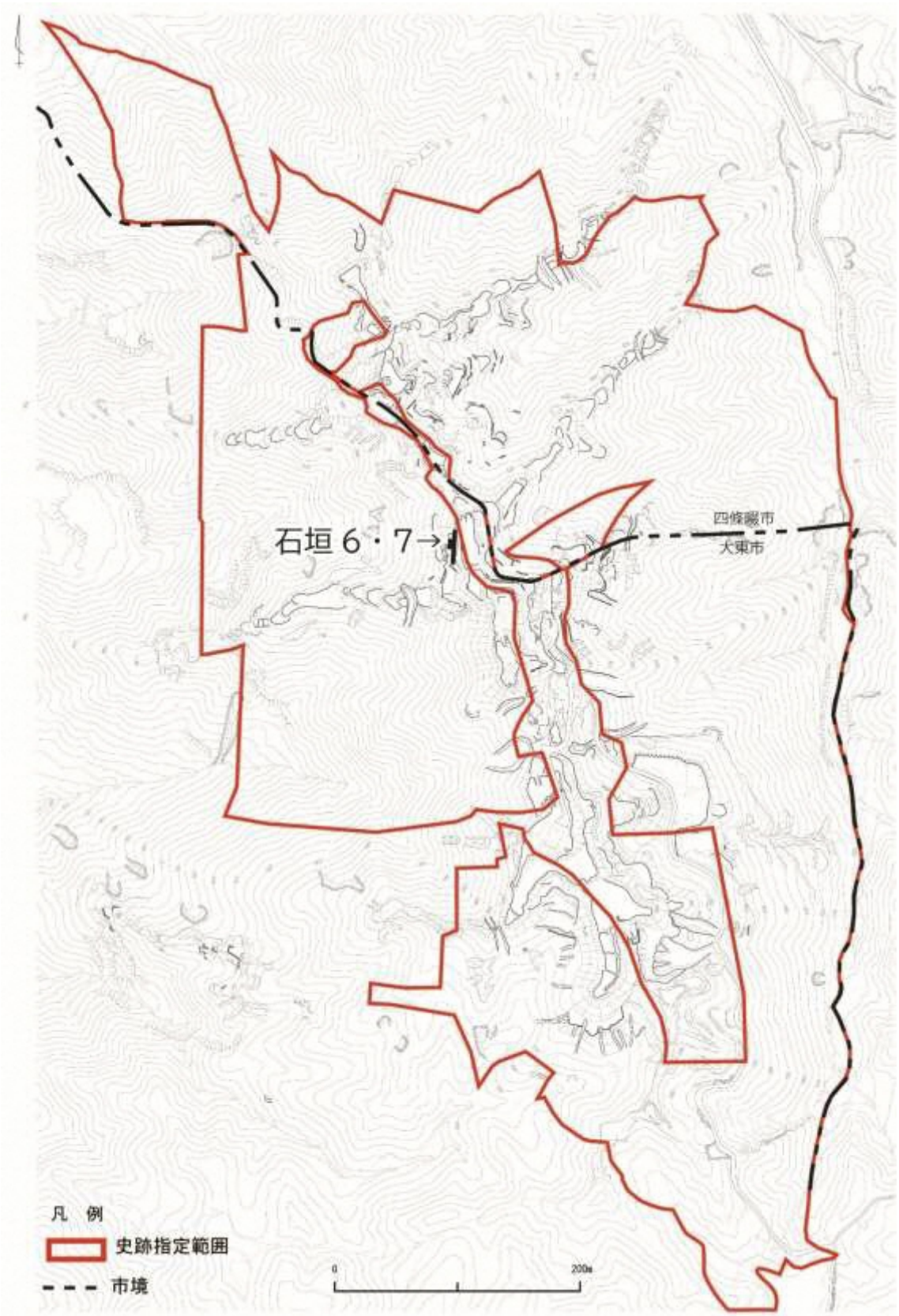


図1　石垣位置

写真1　土砂流出前　南西から

写真2　　土砂流出状況　南西から

写真3　腐敗した切株

写真4　　犬走り　イノシシ掘り返し状況

写真5　土砂流出前　北西から

写真6　　土砂流出状況　北西から

写真7　伐採対象木

写真8　　伐採状況

写真9　切株伐採状況

写真 10　　切株伐採後　築石露出状況

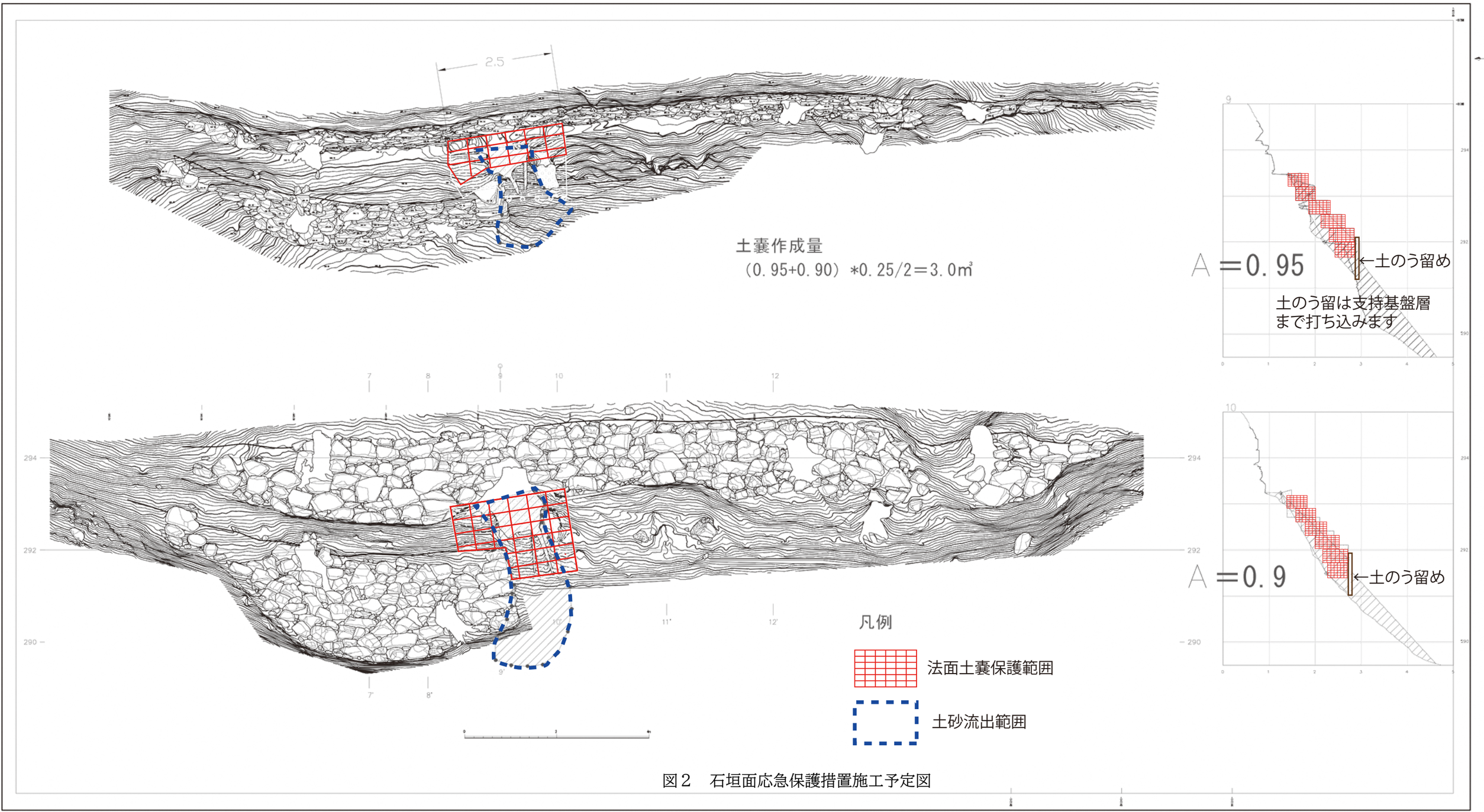


図２　石垣面応急保護措置施工予定図